

令和 8 年度環境測定分析統一精度管理調査参加申込要領
(民間、大学及び独立行政法人等用)

1. 調査試料

区分	名称	容器 (内容量)	個数	備考
共通試料 1	模擬水質試料 (鉛、ひ素、亜鉛、 ニッケル)	ポリエチレン製瓶 (約1000 mL)	1	液体
共通試料 2	模擬水質試料 (シマジン、チオ ベンカルブ、フェニトロチオン)	ガラス製瓶 (約500 mL)	1	液体
共通試料 3	土壌試料 (PFOS、PFOA、PFHxS)	褐色ポリエチレン製瓶 (約200 g)	1	粉体

2. 分析項目

(1) 基本精度管理調査

a. 模擬水質試料(金属等分析用)

試料中の一般項目 4 項目 (鉛、ひ素、亜鉛、ニッケル) を測定対象とする。
参加機関は上記 4 項目の中から最低 1 項目以上を選択し、分析を行う。

(2) 高等精度管理調査

a. 模擬水質試料(農薬分析用)

試料中の下記の 3 項目を対象項目とする。
参加機関は詳細項目あるいは参照項目から、最低 1 項目以上を選択し、分析を行う。
詳細項目 (2 項目) : シマジン、チオベンカルブ
参照項目 (1 項目) : フェニトロチオン。

b. 土壌試料 (有機フッ素化合物分析用)

試料中の有機フッ素化合物 3 項目 (PFOS、PFOA、PFHxS) を測定対象とする。
参加機関は上記 3 項目の中から最低 1 項目以上を選択し、分析を行う。

3. 分析方法

(1) 模擬水質試料(金属等分析用)

共通試料 1 (模擬水質試料中の金属等) については、「水質汚濁に係る環境基準について」(昭和 46 年環境庁告示第 59 号)、「水質管理目標設定項目の検査方法」(平成 15 年 10 月 10 日付け健水発第 1010001 号)、及び JIS K 0102-3: 2022 18 ニッケル (Ni) に定める方法により分析する。

(2) 模擬水質試料(農薬分析用)

共通試料 2 (模擬水質試料中の農薬) については、「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準の測定方法及び要監視項目の測定方法について」(平成5年環水規第121号) 付表 1 の第 1 又は第 2、「水質汚濁に係る環境基準について」付表 6 の第 1 又は第 2、「水質管理目標設定項目の検査方法」(平成15年健水発第1010001号)別添方法 5 (固相抽出ーガスクロマトグラフィー質量分析計による一斉分析法)、同別添方法18 (固相抽出ー液体クロマトグラフィー質量分析計による一斉分析法)、同別添方法20ー2 (液体クロマトグラフィー質量分析計による一斉分析法)、あるいは上記に加えて同等以上の (例えば、MS/MSやTOF-MSを用いる) 方法により分析してもよい。

(3) 土壌試料 (溶出試験) (有機フッ素化合物分析用)

共通試料 3 (土壌試料中の有機フッ素化合物) については、「土壌中のPFOS、PFOA及びPFHxSに

係る暫定測定方法（溶出量試験）」（令和5年7月 環境省水・大気環境局環境管理課事務連絡）に定める方法により分析する。

4. 試料の配布時期及び分析結果の報告期限

(1) 配布時期（予定）

7月上旬（配布日の詳細については決定次第、メール等で参加機関にお知らせ致します。）

(2) 報告期限（予定）

8月上旬（配布日のご案内と共にメール等で参加機関にお知らせ致します。）

(3) 調査結果の報告（公開等）

全体の中間報告は12月上旬頃を予定しています。

分析結果を報告いただいた機関には、翌年度（時期未定）に「調査結果（本編、資料編）」（環境省 編）を配布（PDFファイル）予定としています。

5. 調査参加申込方法

(1) 申込方法

日本環境衛生センターホームページの本調査案内ページ

「<https://www.jesc.or.jp/activity/tabid/561/Default.aspx>」にアクセスし、ページ中段の「参加申込み」をクリックします。開いたページの<令和8年度環境測定分析統一精度管理調査に係る参加申込み>にある申込みフォームに、必要事項を入力してください。

「機関コード」をお忘れになった機関、「機関コード」を保有していない新規参加機関につきましては、「機関コード」は空欄でお申し込み下さい。試料発送時に「機関コード」、「パスワード」を併せてお送りします。

なお、電話、ファックスによる申込みはご容赦ください。

(2) 申込期限

令和8年6月10日（火）

(3) お問い合わせ先

申込み方法についてご不明な点がございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

〒210-0828 神奈川県川崎市川崎区四谷上町10-6
一般財団法人日本環境衛生センター
環境科学部 梶、堀内
TEL 044-287-0766
E-mail seidokanri0@jesc.or.jp

6. 参加の区分及び費用（税込み）

区 分	費 用	
共通試料1	24,750円	共通試料1～3全て 78,100円
共通試料2	24,750円	
共通試料3	33,000円	

- ・お支払方法：試料送付時に請求書を同梱いたします。請求書記載の振込先に9月末日までにお振込み下さい。
- ・試料の追加請求：追加試料をご希望の場合は、締め切りまでに事務局へご連絡ください。

残余試料の見込みがある場合には、実費相当（+送料）で追加試料を送付いたします。

7. その他

(1) 参加機関の要件

本調査に参加できる機関は、実際に分析等を実施している機関であり、国内、国外の他機関へ委託して実施している機関は参加できませんので、ご了承ください。

(2) 分析結果の公表

各種の統計量の算出根拠に該当する報告値、分析条件別の回答数、あるいは各種の文章表現等につきましては、機関名は伏せた上で公表します。参加申込をいただいた機関におかれましては、その旨をご了承ください。

Z-スコアの記載をご希望の機関は、測定結果の入力時にZ-スコア希望欄へのご記入をお願いいたします。機関名を伏せた上でZ-スコアを調査結果（資料編）に併記いたします。

(3) 極端な分析結果

極端な分析結果（外れ値等）を報告された場合には、原因究明のためのアンケート調査を実施しますので、ご了承ください。

(4) ウェブサイトによる分析結果の報告

参加機関は、日本環境衛生センターホームページの本調査案内ページ「<https://www.jesc.or.jp/activity/tabid/561/Default.aspx>」からアクセスできるアップロードサイトより分析結果報告を行ってください。アップロードサイトは試料配布と同時に設置いたします。

(5) 試料の追加請求

追加試料をご希望の場合は、締め切りまでに事務局へご連絡ください。残余試料の見込みがある場合には、追加試料を送付いたします（有料となります）。